

(参考様式2) 社会資本総合整備計画（第1回変更）

平成29年1月10日

計画の名称	みづかわ地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当			
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）					交付対象	静岡県袋井市							
計画の目標	新市の特徴である自然環境と景観の保全・活用を推進し、やすらぎのあるふるさとづくりを目指す。													
計画の成果目標（定量的指標）														
・自然や歴史文化などを活かした地域の都市景観の現状に対する不満足度の減少 ・河川や水辺に関するマイナスイメージの減少 ・ワークショップ参加人数の増加														
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考					
袋井市「市民の感じる満足・不満足調査」において三川地区では都市景観の現状に対する不満足度が24.0%となっており、市全体の平均値21.8%を上回っているため、改善を図る。 本地区は河川整備が遅れている地区であり、袋井市市民意識調査において、河川や水辺に関する感想のうち本地区で河川環境が悪いと回答しているhとの割合が17.5%となっており、自然体の平均値13.8%を上回っているため改善を図る。 公園整備を機に、地元活性化のためのワークショップ参加人口を増加させ、地域活性化を図る。						当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)						
						24.0%	-	22.0%						
						17.5%	-	15.8%						
						29人	-	35人						
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		1,539百万円	A	1,539百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
A1	都市再生 整備計画	一般	袋井市	直接	一	みづかわ地区都市再生整備計画事業	A=307ha	袋井市						1,539			
合計													1,539				

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				

C 効果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

交付金の執行状況

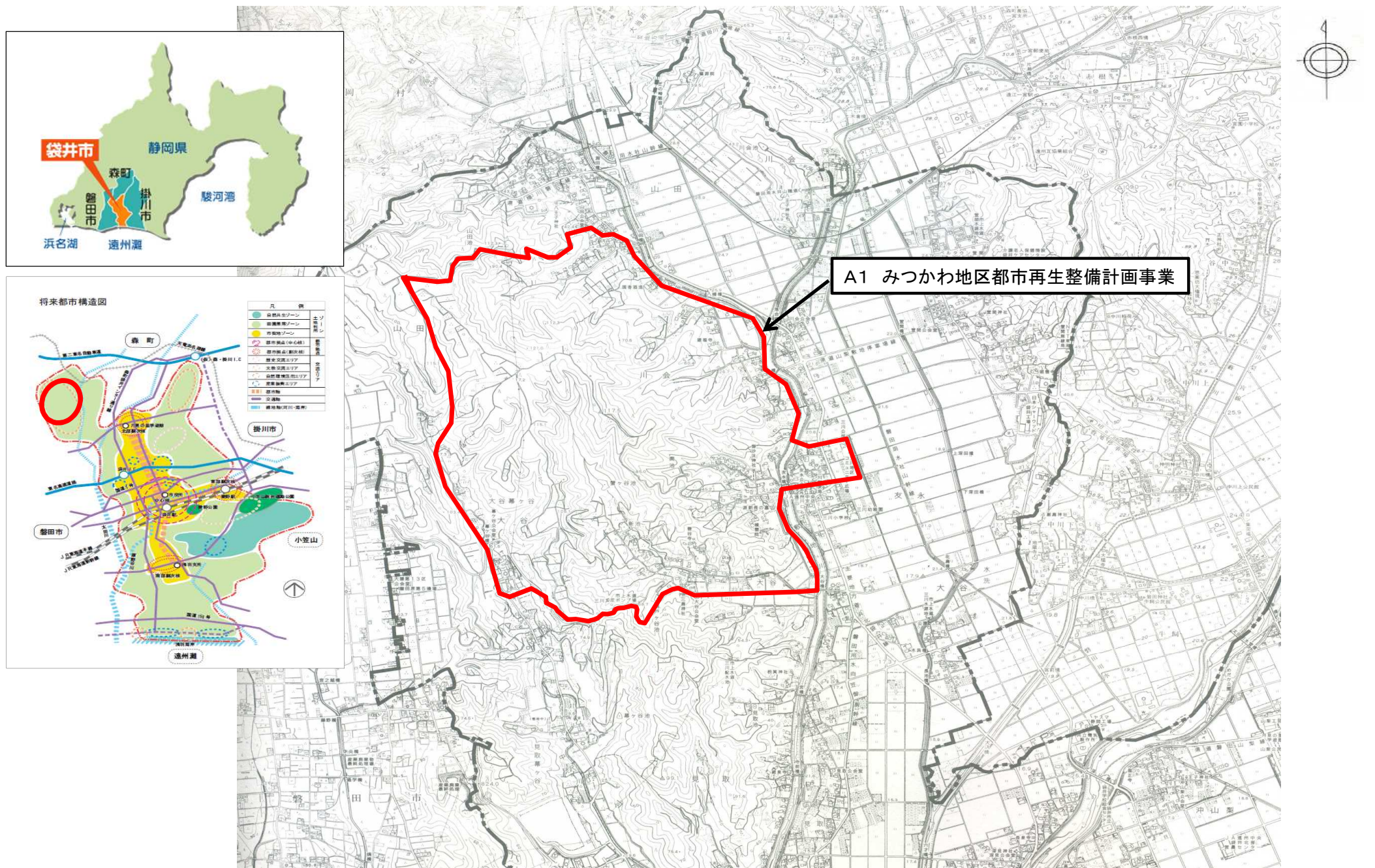
(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	186	66	72		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	186	66	72		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	186	66	72		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0. 0%	0. 0%	0. 0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	みつかわ地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	袋井市



都市再生整備計画(第1回変更)

みつかわ地区

しずおかけん 静岡県 ふくろいし 袋井市

平成29年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	フクロイシ 袋井市	地区名	みづかわ地区	面積	307 ha
計画期間	平成25年度	～	平成29年度	交付期間	平成25年度	～	平成29年度

交付期

目標

大目標:新市の特徴である自然環境と景観の保全・活用を推進し、やすらぎのあるふるさとづくりを目指す。

- ・目標1:市民が集い憩える地域特性を生かした特色ある空間の整備　～恵まれた自然環境を生かした潤いのある生活環境づくり～
- ・目標2:農村地域の活性化と都市地域との交流　～住民相互の交流促進と交流人口の増加による地域活性～
- ・目標3:協働によるまちづくりの推進　～地域コミュニティや市民団体と連携した協働によるまちづくり～

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・袋井市は、平成17年4月1日に旧袋井市と旧浅羽町が合併し、面積は108km²、人口8万6千人が暮らす農業・商業・工業がバランス良く発展し、里山・田園・茶園・海岸といった自然豊かなまちである。平成18年9月に策定した「袋井市総合計画(平成18年度～27年度)」において、まちの将来像を「人も自然も美しく　活力あふれる　日本一健康文化都市」と定め、袋井市のみならず中東遠地域の発展に貢献できる中軸都市を目指すこととした。
- ・総合計画の土地利用には、自然環境や歴史的・文化的資源を保全、継承し、安全で快適な都市基盤と活力ある産業基盤を環境に配慮しながら整備するとし、3つの基本目標を掲げている。その中で「Ⅱ 自然環境や歴史、風土を生かした個性」においては、三川地区を「田園集落ゾーン」として位置付け、田園風景を保持するとともに、市民生活や農業生産に配慮した環境整備を推進することとしている。また田園集落ゾーンの中で、自然環境活用エリアとして位置付け、恵まれた自然環境や地域の風土・文化を生かしつつ、地域とのふれあいを通じた人々の交流を促進するため、地域特有の資源を活用した個性的な環境整備を図っている。
- ・三川地区は袋井市の北西に位置し、明治22年の町村制により磐田郡見取村、大谷村、川会村、友永村、山田村及び周智郡萱間村の6ヶ村が合併し、豊田郡三川村として形成され、昭和30年に袋井町に編入され三川村は廃止された。周囲を丘陵に囲まれた里山の景観を色濃く残す地域で、中央を敷地川水系が流れる。また、住宅は山裾に多く点在し、県道浜北袋井線、山梨敷地停車場線が重要なアクセス道路となっており、新東名自動車道路の開通、予定されている(仮)森町PASスマートインターチェンジ供用開始により、さらに交通アクセスの利便性が向上すると期待されている。
- ・この地区は山や川などの豊かな自然に恵まれ、広大な田園が広がる地域であり、これらの資源を活用して、新東名高速道路の開通とともに、にぎわいとうるおいのある北の玄関口として発展が期待される。
- ・三川地区においては、平成14年から地元市民団体が、県の埋め立て事業である跡地利用の活動を展開しており、(仮称)袋井市墓地公園はその跡地利用として計画された。
- ・基幹事業である(仮称)袋井市墓地公園建設事業については、平成21年から様々な内容で協議が進められ、平成23年度に整備の基本コンセプトとなる「基本設計」を策定した。この計画策定にあたっては、住民アンケート調査や地元説明会の開催など、地元住民と協働により計画を進めてきており、住民の健康増進や心の休息、住民相互の交流や自然環境を学ぶ場所、また災害時の住民の避難地として防災拠点施設としての期待が高まっている。

課題

- ・市民1人あたりの都市公園面積は26.95㎡となっているが、三川地区においては寄附公園があるものの、住民1人当たり1.76㎡と地域住民が憩える都市公園が整備されておらず、恵まれた自然を活用した憩いの場としての公園整備が望まれている。
- ・合併によって里山から田園・茶園、海岸まで、自然豊かな市となったため、旧市町民の相互交流により一体感の醸成を図る必要がある。また、三川地区は新東名自動車道の(仮)森町PASスマートインターチェンジが近くに設置される予定で、交通アクセスも改善されることから市外からの交流人口を増加させ地域活性を図る必要がある。
- ・基幹事業である(仮称)袋井市墓地公園を維持管理するにあたり、公園維持管理組織を、住民と行政との連携により運営することで、協働によるまちづくりを推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ・袋井市総合計画基本目標「みんなが健康で　安心して暮らせる　住みよいまち」の実現に向け、快適な生活環境の創造と自然環境に配慮した都市基盤の整備を図る。
- ・袋井市総合計画重点プロジェクト「ふるさと創生プロジェクト」に位置付けた、田園・茶園・里山の緑が映えるまちづくりや、基本計画の「みんなが憩える水辺・公園・緑地の整備」を推進するため、地域資源である自然環境を生かした公園や河川を整備する。
- ・国土利用計画袋井市計画においては、三川地区を含めた市北部地域の土地利用方向性を「自然環境との調和に配慮しながら、立地特性や地域資源を活用し、新たな地域活力を創造していくための土地利用を展開する。」としており、今回の事業により計画の推進を図る。

目標を定量化する指標

指　　標	単　　位	定　　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目　標　値	目　標　年度
都市景観の現状に対する不満足度	%	自然や歴史文化などを活かした地域の都市景観の現状に対する不満足度の減少	袋井市「市民の感じる満足・不満足度調査」において、三川地区では都市景観の現状に対する不満足度が24.0%となっており、市全体の平均値21.8%を上回っているため、改善を図る。	24	平成23年度	22	平成29年度
河川や水辺に対する印象度数	%	河川や水辺に関するマイナスイメージの減少	本地区は河川整備が遅れている地区であり、袋井市「市民意識調査」において、河川や水辺に関する感想のうち、本地区で河川環境が悪いと回答している人の割合が17.5%となっており、市全体の平均値13.8%を上回っているため改善を図る。	17.5	平成23年度	15.8	平成29年度
まちづくりワークショップの参加人数	人	ワークショップ参加人口の増加	公園整備を機に、地元活性化のためのワークショップ参加人口を増加させ、地域活性化を図る。	29	平成24年度	35	平成29年度

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	
・市民が集い憩える地域特性を生かした特色ある空間の整備 ～恵まれた自然環境を生かした潤いのある生活環境づくり～ 地域固有の自然環境を活用した公園を整備するとともに、地域防災拠点施設としての公園の整備を行う。	■基幹事業 ・公園：みつかわ夢の丘公園整備事業 ・公園：三川地区コミュニティ広場整備事業 □提案事業 ・地域創造支援事業：準用河川中沢川改修事業 ○関連事業 ・道路：市道大谷幕ヶ谷線改築事業
・農村地域の活性化と都市地域との交流 ～住民相互の交流促進と交流人口の増加による地域活性～ 地域活性を図るため交流人口の増加を目指すとともに、住民相互の交流も促進させるため関連する事業を実施する。	■基幹事業 ・道路：市道大谷幕ヶ谷西山線整備事業 ・地域生活基盤施設（情報板）：地域案内看板設置事業 □提案事業 ・地域創造支援事業：ウォーキングコース整備事業
・協働によるまちづくりの推進 ～地域コミュニティや市民団体と連携した協働によるまちづくり～ 行政主導ではなく市民参加を促し、協働によるまちづくりを推進するため関連する事業を実施する。	□提案事業 ・地域創造支援事業：みつかわまちづくりワークショップ
事業実施における特記事項	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	1,539	交付限度額	615.6	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業															
事業	細項目	事業箇所	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比 B／C	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分			
道路		市道大谷幕ヶ谷西山線整備事業	袋井市	直	L=980m	平成25年度	平成27年度	平成25年度	平成27年度	230.0	230.0	230.0	0	230.0	—
公園		みつかわ夢の丘公園整備事業	袋井市	直	A=24.8ha	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成29年度	1,603.4	1,253.4	1,253.4	0	931.4	—
		三川地区コミュニティ広場整備事業	袋井市	直	A=1.6ha	平成25年度	平成27年度	平成25年度	平成27年度	284.3	284.3	284.3	0	284.3	—
地域生活基盤施設(情報板)		地域案内看板設置事業	袋井市	直	4箇所	平成27年度	平成29年度	平成27年度	平成29年度	4.3	4.3	4.3	0	4.3	—
合計										2,122	1,772	1,772	0	1,450	—

提案事業（継続地区の場合のみ記載）

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負分担		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負分担	うち民負分担	
地域創造	準用河川中沢川改修事業	袋井市三川地内	袋井市	直	L=250m	2	29	25	29	480	80	80		80
支援事業	ウォーキングコース整備事業	袋井市三川地内	袋井市	直	—	29	29	29	29	5	5	5		5
事業活用調査	事業効果分析調査	袋井市三川地内	袋井市	直	—	28	29	28	29	3	3	3		3
まちづくり活動推進事業	みつかわまちづくりワークショップ	袋井市三川地内	袋井市	直	—	28	28	28	28	1		1		1
合計										489	89	89	0	89
												合計(A+B)		1,539

〔参考〕関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
市道大谷幕ヶ谷線改築事業	袋井市三川地内	袋井市	国土交通省	L=1,400m	/	○	/	/	H25	H29	600
合計					/	/	/	/			600

都市再生整備計画の区域

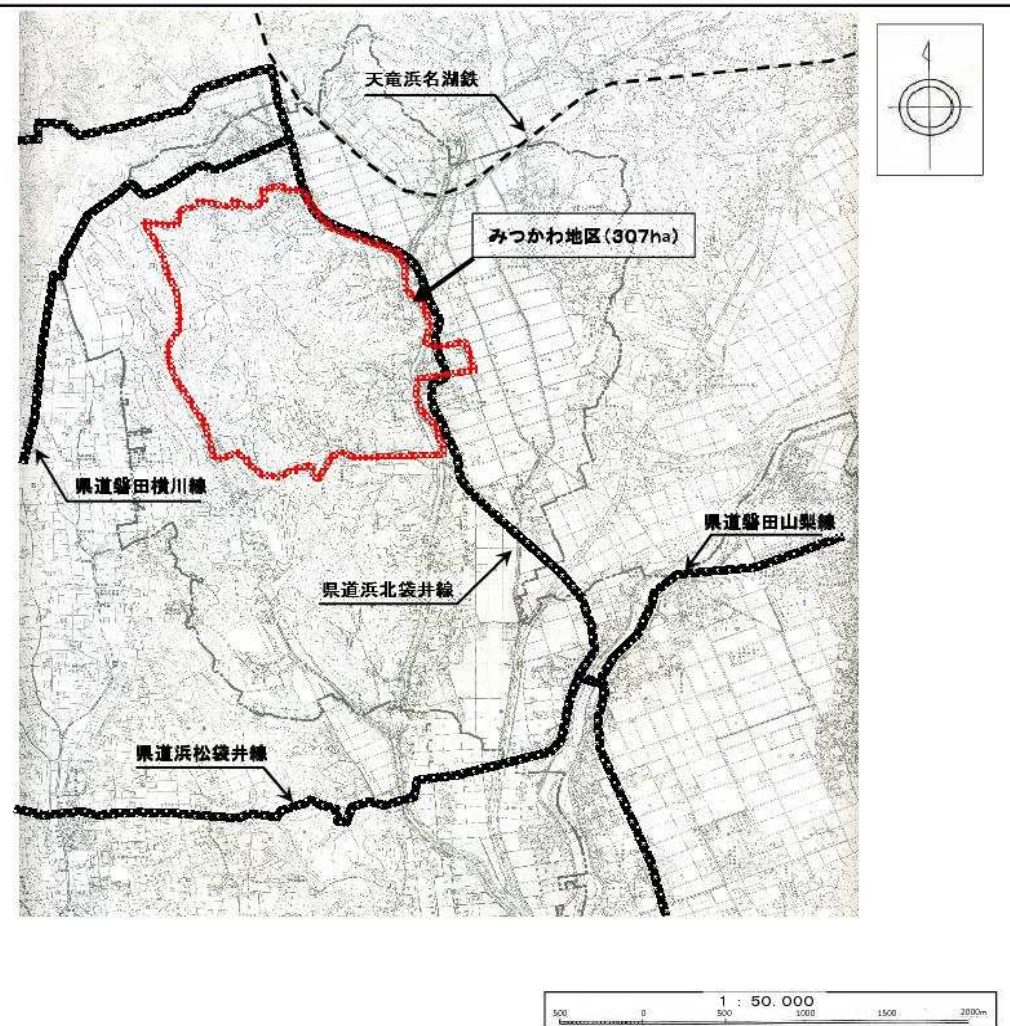
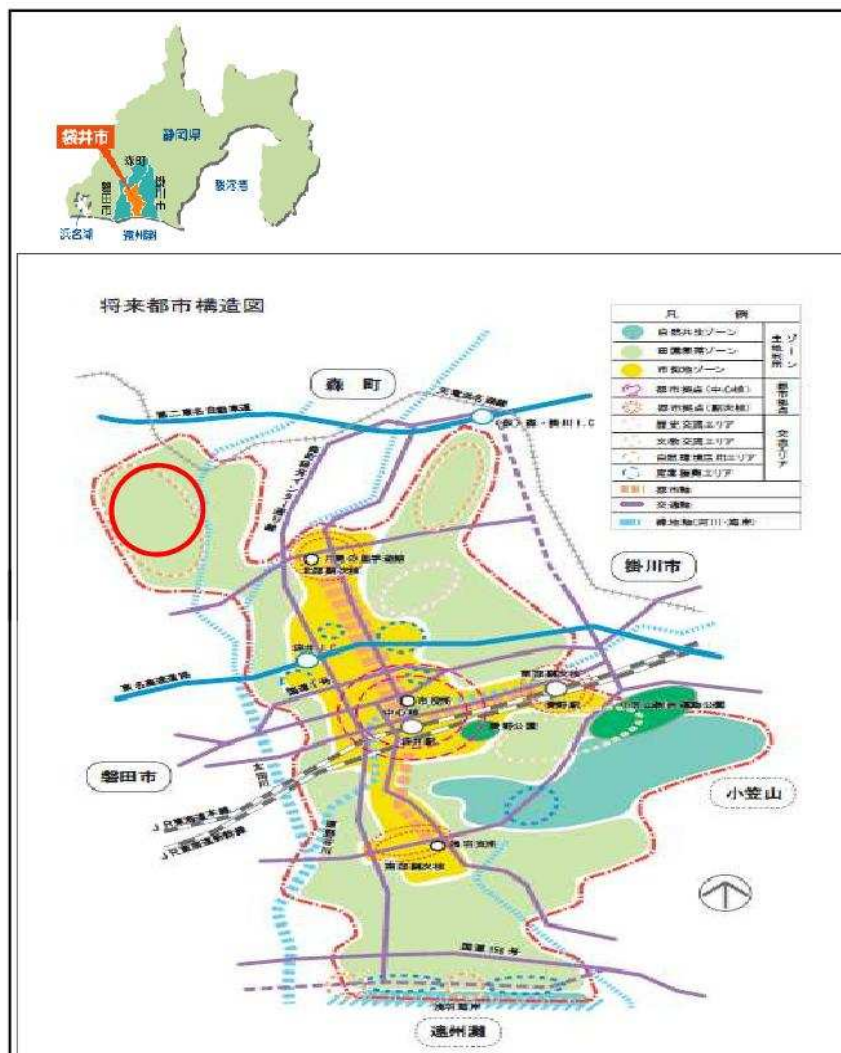
みつかわ地区(静岡県袋井市)

面積

307 ha

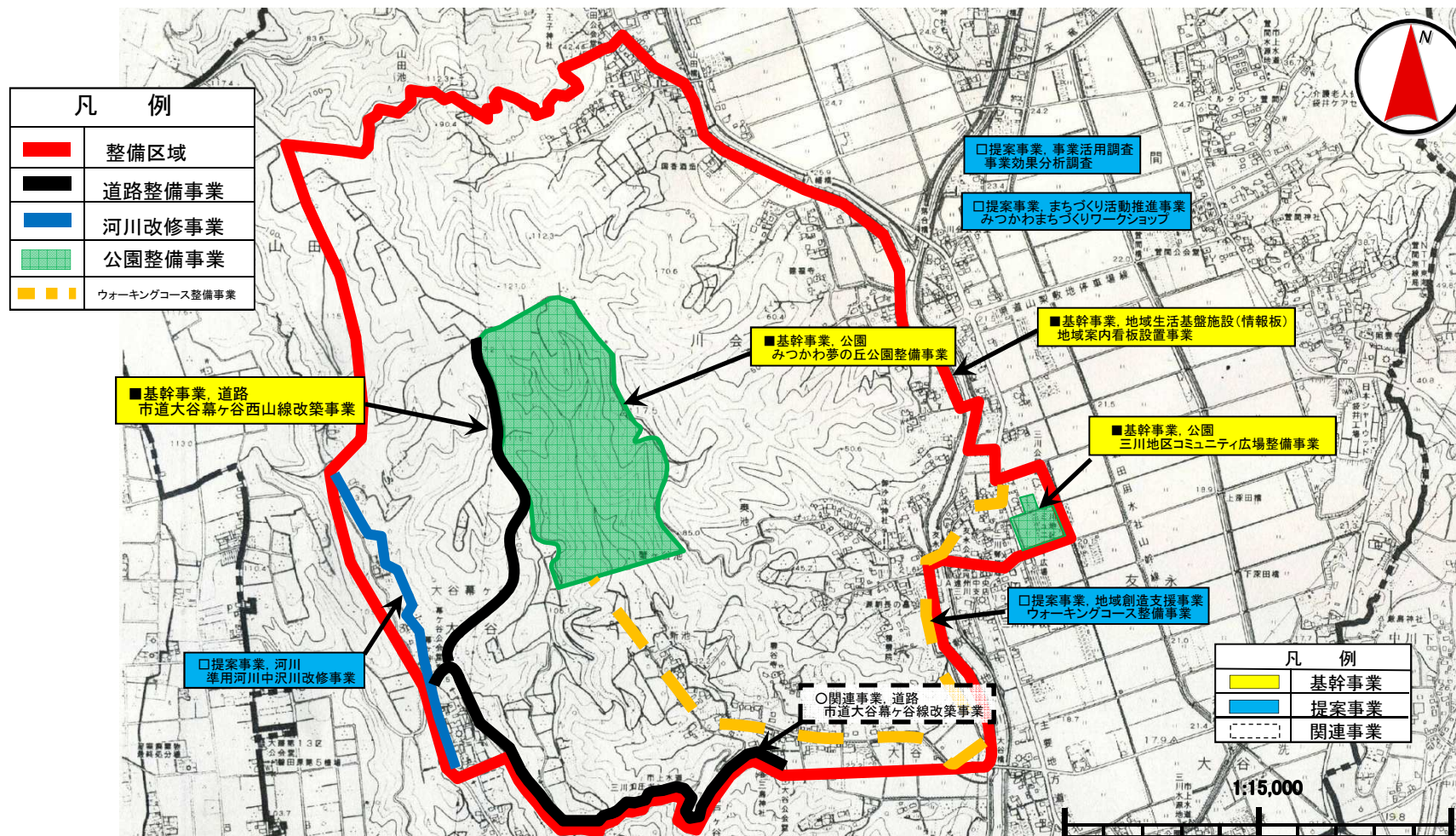
区域

成 袋井市大谷、山田、友永、川会の一部



みつかわ地区（静岡県袋井市）整備方針概要図

目標	袋井市の特徴である自然環境と景観の保全・活用を推進し、やすらぎのあるふるさとづくりを目指す。	代表的な指標	都市景観の現状に対する不満足度（％）	24（平成23年度）	→	22（平成29年度）
			河川や水辺に対する印象度数（％）	17.5（平成23年度）	→	15.8（平成29年度）
			まちづくりワークショップの参加人数（人）	29（平成24年度）	→	35（平成29年度）



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: みつかわ地区

事業主体名: 袋井市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○